

令和7年度

進修同窓会総会

卒業60・50・40・25・15周年記念祝賀式



日 時 令和7年4月26日（土）

会 場 総会・祝賀式：土浦第一高等学校体育館

〒300-0051 茨城県土浦市真鍋4丁目4番2号

TEL 029-822-0137

FAX 029-826-3521

<http://www.sin-syu.jp/>

E-mail : shinshu@tsuchiura1-h.ibk.ed.jp

茨城県立土浦第一高等学校校歌

作詞 堀越 晋・作曲 尾崎楠馬

- 沃野一望数百里 関八州の重鎮とて
そそりたちたり筑波山 空の碧をさながらに
湛えて寄する漣波は 終古渝らぬ霞浦の水
- 春の弥生は桜川 其の源の香を載せて
流に浮かぶ花筏 芦の枯葉に秋立てば
渡る雁声冴えて 湖心に澄むや月の影
- 此の山水の美を享けて 我に寛雅の度量あり
此の秀麗の気を享けて 我に至誠の精神あり
東国男児の血を享けて 我に武勇の気魄あり
- 筑波の山のいや高く 霞ヶ浦のいや広く
嗚呼桜水の旗立てて 我が校風を輝かせ
亀城一千の健男児 亀城一千の健男児

栄光に立つ土浦一高
亀城育ちの意気爽やか
一途に守り直き道
自主・協同・責任を

先人の残せし訓 胸に留め

栄光に立つ土浦一高
亀城の友は巢立ちゆく
智力と技を磨きたる
水の清さと深き思慮
広き心は霞ヶ浦の

栄光に立つ土浦一高
紙筆に励み身体を鍛え
筑波の秀峰仰ぎつつ
創学百年紫の

作詞 幡谷 祐一
作曲 池辺晋一郎

土浦一高賛歌

令和7年度 進修同窓会総会次第

令和7年4月26日（土）13時から

茨城県立土浦第一高等学校 体育館

- 1 開会のことば
- 2 校歌斉唱 吹奏楽部・弦楽部・応援指導委員会
- 3 物故会員に対する黙祷
- 4 会長あいさつ
- 5 学校長あいさつ
- 6 議長選出
- 7 議 事
第1号議案 令和6年度事業報告及び決算報告 監査報告

第2号議案 令和6年度事業計画（案）及び予算（案）
- 8 感謝状贈呈
- 9 その他
①次年度の総会と周年記念祝賀会場について
2026（令和8）年 4月25日（土）（ホテルマロウド筑波1F予約済）
- 10 閉会のことば

第1号議案 令和6年度事業報告及び決算報告

令和6年度 事業報告

[本部関係]

令和6年 4月27日(土) 同窓会総会及び周年記念祝賀式
令和6年 6月25日(火) 会報(第81号)編集委員会
令和6年 9月17日(火) 会報(第81号)編集委員会
令和6年10月12日(土) 卒業周年記念祝賀式説明会
令和6年12月 1日(日) 会報(第81号)発行
令和7年 2月28日(金) 新入会員入会式
令和7年 3月10日(月) 同窓会会計監査
令和7年 3月23日(日) 同窓会役員会・評議員会

[支部総会関係]

令和6年 5月12日(日) 真鍋支部総会
令和6年 6月 9日(日) 東進会総会
令和6年 6月18日(火) 茨城県庁進修同窓会
令和6年 6月29日(土) 牛久支部会
令和6年 7月27日(土) 筑波銀行桜水会例会
令和6年 8月31日(土) つくば支部会
令和6年 10月19日(土) 東葛支部総会
令和6年 10月20日(日) 八郷支部会
令和6年 11月16日(土) 取手支部桜水クラブ総会
令和6年 11月17日(日) 土浦支部会
令和6年 11月29日(金) 水戸支部会
令和7年 1月19日(日) 龍ヶ崎支部総会

[旧本館活用委員会]

1 委員会

定例委員会	隔週の火曜日に活動	24回	
臨時委員会	定例以外の毎週火曜日	24回	「アカンサス」編集等

2 委員会のおもな活動

- 寄贈資料の台帳作成
- 在校生向け『アカンサス』の発行(11回)及びホームページへの掲載
- ホームページへの更新作業
- 一般公開に向けての展示準備作業
- 一般公開(4/13、5/11、9/14、10/12、11/9、12/14、R. 7. 3/8)

3 その他

- 一高祭期間中、旧本館の特別公開を実施しました。7月、8月の酷暑期及び1月、2月の厳寒期の一般公開は中止としました。
- 全面公開に向けて準備を進めていますが、収蔵品が非常に多く、展示物の整理が出来ないため、一部非公開としています。
- 12月にはNHK朝ドラ「あんぱん」のロケがありました。

令和6年度 進修同窓会決算書

収入総額 12,390,334円
 支出総額 9,262,602円
 差引残額 3,127,732円 (次年度へ繰越)

収入の部

単位:円

項目	予算額	決算額	比較増減(△)	備考
1 繰越金	3,317,829	3,317,829	0	前年度繰越金
2 終身会費	60,000	483,000	423,000	13名
3 年会費	7,000,000	6,959,000	△ 41,000	2,152名
4 入会金	1,250,000	1,240,000	△ 10,000	新会員 計248名×5,000円
5 繰入金	0	0	0	
6 寄付金	0	389,703	389,703	
7 雑収入	171	802	631	預金利息
合計	11,628,000	12,390,334	762,334	
ご寄付者名	高14回卒業生ご一同様・高26回卒業生ご一同様・高36回卒業生ご一同様・高14回卒石岡地区有志様・土浦三中支部様			

支出の部

(残額欄の△は決算額が予算額を超過していることを示す。)

項目	予算額	決算額	残額	備考
1 総会補助	400,000	419,753	△ 19,753	総会資料、会場設営等
2 会報発行費	3,400,000	3,543,837	△ 143,837	会報印刷、発送
3 通信費	200,000	43,163	156,837	切手、はがき
4 卒業記念品費	250,000	285,200	△ 35,200	卒業証書ホルダー
5 卒業周年記念品費	500,000	500,000	0	卒業周年記念品
6 会議費	350,000	243,020	106,980	役員会、評議員会経費
7 支部連絡費	350,000	220,000	130,000	支部会補助
8 生徒奨励費	1,200,000	1,100,000	100,000	生徒会補助
9 生徒活動補助費	800,000	358,318	441,682	各部活動用品
10 別途積立金	1,000,000	1,000,000	0	別途積立金会計へ
11 慶弔費	100,000	0	100,000	
12 事務局費	1,000,000	926,567	73,433	担当者手当、郵便振替手数料等
13 旧本館活用事業費	920,000	140,236	779,764	事務用品、旧本館公開諸経費
14 海外研修旅費	1,000,000	482,508	517,492	海外研修諸経費
15 予備費	158,000	0	158,000	
合計	11,628,000	9,262,602	2,365,398	

上記のとおり決算しました。

令和7年3月10日

茨城県立土浦第一高等学校進修同窓会会長 小野 治

監査の結果上記のとおり相違ないことを認めます。

令和7年3月10日

監事 草薙宏明

監事 鴻巣 茂

監事 杉山 博



令和6年度会費納入状況

納入総額 **2,165** 名 **7,442,000** 円
(年会費 2,152名 終身会費 13名)

(1)年会費

卒業回	人数	金額	備考	卒業回	人数	金額	備考	卒業回	人数	金額	備考
中1~35	0	0		昭39・高16	39	117,000		平8・高48	15	45,000	
昭12・中36	0	0		昭40・高17	52	156,000		平9・高49	15	45,000	
昭13・中37	0	0		昭41・高18	47	141,000		平10・高50	18	54,000	
昭14・中38	0	0		昭42・高19	65	202,000		平11・高51	13	39,000	
昭15・中39	0	0		昭43・高20	43	129,000		平12・高52	17	51,000	
昭16・中40	2	6,000		昭44・高21	41	123,000		平13・高53	13	39,000	
昭17・中41	0	0		昭45・高22	35	105,000		平14・高54	8	24,000	
昭18・中42	0	0		昭46・高23	50	150,000		平15・高55	16	48,000	
昭19・中43	1	3,000		昭47・高24	40	120,000		平16・高56	13	39,000	
昭20・中44	0	0		昭48・高25	48	144,000		平17・高57	10	30,000	
昭20・中45	2	6,000		昭49・高26	39	117,000		平18・高58	10	30,000	
昭21・中46	1	3,000		昭50・高27	86	258,000		平19・高59	7	21,000	
昭22・中47	2	6,000		昭51・高28	48	144,000		平20・高60	10	30,000	
昭23・中48	5	15,000		昭52・高29	42	126,000		平21・高61	5	15,000	
昭24・中49	3	9,000		昭53・高30	28	84,000		平22・高62	15	45,000	
併中1	2	6,000		昭54・高31	34	102,000		平23・高63	10	30,000	
併中2	0	0		昭55・高32	28	84,000		平24・高64	9	27,000	
昭24・高1	1	3,000		昭56・高33	34	102,000		平25・高65	12	36,000	
昭25・高2	4	12,000		昭57・高34	31	93,000		平26・高66	8	24,000	
昭26・高3	8	24,000		昭58・高35	46	138,000		平27・高67	13	39,000	
昭27・高4	11	33,000		昭59・高36	47	141,000		平28・高68	9	27,000	
昭28・高5	16	48,000		昭60・高37	29	87,000		平29・高69	11	33,000	
昭29・高6	20	60,000		昭61・高38	30	90,000		平30・高70	12	36,000	
昭30・高7	19	57,000		昭62・高39	27	81,000		平31・高71	8	24,000	
昭31・高8	26	78,000		昭63・高40	26	78,000		令2・高72	0	0	
昭32・高9	39	117,000		平元・高41	31	93,000		令3・高73	0	0	
昭33・高10	30	90,000		平2・高42	28	84,000		令4・高74	0	0	
昭34・高11	33	99,000		平3・高43	15	45,000		令5・高75	0	0	
昭35・高12	33	99,000		平4・高44	18	54,000		令6・高76	0	0	
昭36・高13	44	132,000		平5・高45	19	57,000		令7・高77	232	1,160,000	
昭37・高14	42	126,000		平6・高46	29	87,000					
昭38・高15	40	120,000		平7・高47	31	93,000		小計	2,099	6,768,000	

卒業回	人数	金額	備考	卒業回	人数	金額	備考	卒業回	人数	金額	備考
昭27・定1	0	0		昭59・定33	0	0		平28・定65	0	0	
昭28・定2	1	3,000		昭60・定34	0	0		平29・定66	0	0	
昭29・定3	0	0		昭61・定35	0	0		平30・定67	0	0	
昭30・定4	3	9,000		昭62・定36	2	6,000		平31・定68	0	0	
昭31・定5	1	3,000		昭63・定37	0	0		令2・定69	0	0	
昭32・定6	2	6,000		平元・定38	0	0		令3・定70	0	0	
昭33・定7	0	0		平2・定39	0	0		令4・定71	0	0	
昭34・定8	0	0		平3・定40	0	0		令5・定72	0	0	
昭35・定9	3	9,000		平4・定41	0	0		令6・定73	0	0	
昭36・定10	0	0		平5・定42	0	0		令7・定74	16	80,000	
昭37・定11	2	6,000		平6・定43	0	0					
昭38・定12	0	0		平7・定44	0	0					
昭39・定13	0	0		平8・定45	0	0		定時制部会		0	
昭40・定14	3	9,000		平9・定46	0	0		通信制	1	3,000	
昭41・定15	3	9,000		平10・定47	0	0		小計	53	191,000	
昭42・定16	3	9,000		平11・定48	0	0		合計	2,152	6,959,000	
昭43・定17	2	6,000		平12・定49	0	0					
昭44・定18	2	6,000		平13・定50	0	0					
昭45・定19	1	3,000		平14・定51	0	0					
昭46・定20	0	0		平15・定52	0	0					
昭47・定21	0	0		平16・定53	0	0					
昭48・定22	2	6,000		平17・定54	0	0					
昭49・定23	1	3,000		平18・定55	0	0					
昭50・定24	2	6,000		平19・定56	0	0					
昭51・定25	1	3,000		平20・定57	0	0					
昭52・定26	0	0		平21・定58	0	0					
昭53・定27	1	3,000		平22・定59	0	0					
昭54・定28	0	0		平23・定60	0	0					
昭55・定29	0	0		平24・定61	1	3,000					
昭56・定30	0	0		平25・定62	0	0					
昭57・定31	0	0		平26・定63	0	0					
昭58・定32	0	0		平27・定64	0	0					

(2)終身会費

卒業回	人数	金額	備考
高17回	1	30,000	
高20回	1	30,000	
高25回	1	30,000	
高26回	1	30,000	
高28回	1	30,000	
高32回	1	30,000	
高42回	1	30,000	
高44回	1	103,000	
高51回	2	60,000	
高56回	1	50,000	
高62回	1	30,000	
高71回	1	30,000	
合計	13	483,000	

令和6年度 進修同窓会別途積立金決算書

収入総額 39,266,433円
 支出総額 0円
 差引残額 39,266,433円 (次年度へ繰越)

一般会計の収入不足、生徒会活動の奨励金、その他に備えて「別途積立金」を設ける。
 但し、「別途積立金」は役員会の承認を経て支出することができる。

収入の部

項 目	予算額	決算額	比較増減(△)	備 考
1 繰 越 金	38,191,630	38,191,630	0	前年度繰越
2 記念誌売上代	0	60,000	60,000	記念品売上(賛助金)
3 名簿売上代	0	4,200	4,200	1冊
4 繰 入 金	1,000,000	1,000,000	0	進修同窓会会計より
5 雑 収 入	370	10,603	10,233	預金利息
合 計	39,192,000	39,266,433	74,433	

上記のとおり決算しました。

令和7年3月10日

茨城県立土浦第一高等学校進修同窓会会長 小野 治

監査の結果上記のとおり相違ないことを認めます。

令和7年3月10日

監事 草苺 宏明



監事 鴻巣 茂



監事 杉山 博



第2号議案 令和7年度事業計画(案)及び予算(案)

令和7年度事業計画(案)

[本部関係]

- 1 母校との緊密な連携と援助
- 2 支部活動の奨励
- 3 会報の発刊
- 4 母校生徒会活動の援助と新入会員の歓迎
- 5 役員会・評議員会の開催
- 6 その他目的達成のための活動

[旧本館活用委員会関係]

- 1 土浦一高（旧制土浦中学校）に関する資料収集の推進
- 2 旧本館校舎全面公開に向けての準備整理
- 3 同窓会ホームページの活用（アカンサスの掲載継続）
- 4 文化財指定等で公開している建物について、公開管理状況視察

令和7年度 進修同窓会予算書(案)

収入総額 12,603,000円
 支出総額 12,603,000円
 差引残額 0円

収入の部

単位：円

項 目	予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備 考
1 繰越金	3,127,732	3,317,829	△ 190,097	前年度繰越金
2 終身会費	60,000	60,000	0	
3 年会費	7,000,000	7,000,000	0	
4 入会金	1,265,000	1,250,000	15,000	253名(全236・定17) × 5,000円
5 繰入金	1,150,000	0	1,150,000	別途積立金会計から
6 雑収入	268	171	97	預金利息
合 計	12,603,000	11,628,000	975,000	

支出の部

項 目	予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備 考
1 総会補助	450,000	400,000	50,000	資料、会場設営等
2 会報発行費	3,600,000	3,400,000	200,000	会報印刷、送料
3 通信費	100,000	200,000	△ 100,000	切手、はがき等
4 卒業記念品費	300,000	250,000	50,000	卒業証書用ホルダー
5 卒業周年記念品費	300,000	500,000	△ 200,000	卒業周年記念品
6 会議費	350,000	350,000	0	役員会、評議員会等経費
7 支部連絡費	350,000	350,000	0	支部会補助
8 生徒奨励費	1,200,000	1,200,000	0	生徒会補助、生徒会活動功労賞
9 生徒活動補助費	800,000	800,000	0	部活動補助
10 別途積立金	1,000,000	1,000,000	0	別途積立金会計へ
11 慶弔費	100,000	100,000	0	香料、弔電
12 事務局費	1,000,000	1,000,000	0	担当者手当、郵便振替手数料等
13 旧本館活用事業費	1,950,000	920,000	1,030,000	旧本館公開経費、展示ケース台整備
14 海外研修旅費	800,000	1,000,000	△ 200,000	生徒海外研修引率旅費補助 グローバル基金補助
15 予備費	303,000	158,000	145,000	
合 計	12,603,000	11,628,000	975,000	

※項目間の流用を認める。

上記のとおり提案いたします。

令和7年4月26日

茨城県立土浦第一高等学校進修同窓会会長

令和7年度 進修同窓会別途積立金予算書（案）

収入総額 40,267,000円
 支出総額 1,150,000円
 差引残額 39,117,000円

収入の部

単位：円

項目	予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
1 繰越金	39,266,433	38,191,630	1,074,803	前年度繰越金
2 記念誌売上代	0	0	0	「進修120年」
3 名簿売上代	0	0	0	
4 繰入金	1,000,000	1,000,000	0	進修同窓会会計より
5 雑収入	567	370	197	預金利息
合計	40,267,000	39,192,000	1,075,000	

支出の部

単位：円

項目	予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
1 旧本館活用事業費	1,150,000	0	1,150,000	進修同窓会会計繰入金へ (展示ケース台整備 10台)
合計	1,150,000	0	1,150,000	

上記のとおり提案いたします。

令和7年4月26日

茨城県立土浦第一高等学校進修同窓会会長

進 修 同 窓 会 役 員

顧問	高 4		史義一男	
	高 8		浩和金宗	
	高 8		谷山野瀬	
	高 11	校長	幡青大長	
会長	高 9		小貝大飯	
副会長	高 13		野塚竹塚	水戸支部長
	高 17		戸山井邊	東京支部長
	高 18		原井木井崎	真鍋支部長
	高 18	会長代行	谷田澤	
	高 18		本向	
	高 19		松崎	
	高 20		野刈	
	高 21		巢山	
	高 21		村井	
	高 21		川石	
	高 23		上邊	
	高 25		田川	
	高 27		岩藤	
	高 29		城部	
	高 33		口保	
	高 35		野大	
副校長(全)	高 36		久保	
教頭(全)	高 45		木勢	
教頭(定)			野井	
教頭(全中)			田保	
監事	定 10		江大	
	高 21		久野	
本部幹事	高 24		大鈴	
	高 5		伊高	
	高 4		酒江	
	高 13		江大	
	高 15		久野	
	高 18	常任	尾大	
	高 20	常任	尾大	
	高 20	常任	尾大	
	高 21	常任	尾大	
	高 23	常任	尾大	
	高 27	常任	尾大	
	高 28	常任	尾大	
	高 28	常任	尾大	
	高 29	常任	尾大	
	高 29	常任	尾大	
	高 30	常任	尾大	
	高 31	常任	尾大	
	高 31	常任	尾大	
	高 33	常任	尾大	
	高 34	常任	尾大	
	高 37	常任	尾大	
	高 39	常任	尾大	
	高 40	常任	尾大	
	高 41	常任	尾大	
	高 45	常任	尾大	
	高 49	常任	尾大	
	高 53	常任	尾大	
	高 52	常任	尾大	
	高 57	常任	尾大	
	高 59	常任	尾大	
校内幹事	高 38		飯島	
副参事兼事務室長				
教諭	高 38			

【評議員名簿】

支部長〔地域支部〕

土 浦 高 21 小 原 芳 道
 高 津 天 川 高 27 須 田 義 之
 真 鍋 高 18 高 山 了
 美 浦
 龍 ケ 崎 高 12 山 村 邦 男
 真 壁 高 11 飯 泉 春 長
 小 美 玉 高 19 鶴 町 文 男
 東 葛 高 21 齋 藤 泰 雄
 宮 城 県 高 6 塚 田 昇
 北 海 道
 阿 見
 岩 間
 日 立
 県 庁 支 部 高 37 久 保 田 博 文
 筑 波 銀 行 桜 水 会 高 32 尾 崎 聡

土浦三中地区
 小 松 高 10 廣 瀬 昭 雄
 新 治 高 18 田 上 顯
 牛 久 高 21 山 越 守
 取 手 高 24 杉 山 博
 八 郷 高 18 岡 崎 尚 俊
 水 戸 高 17 大 竹 伸 一
 東 京 高 18 飯 塚 哲 哉
 つ く ば 高 27 田 谷 光 一
 日 本 海 里
 豊 潮 来
 常 陽 亀 城 会 高 39 軽 部 良 一
 上 海 支 部 高 29 矢 口 孝 則

各 回 評 議 員

中 40 梅 澤 正 之 進
 中 42
 中 43 横 田 照 治
 中 45
 中 47 井 坂 雄
 中 49 真 中 義 雄
 高 2
 高 4
 高 5 尾 形 省 三
 高 7 住 尾 勉
 高 9 古 森 貞 弘
 高 11 長 瀬 宗 男
 高 13 堀 越 昭
 高 15 島 田 卓 光
 高 16 五 頭 英 明
 定 14 石 神 毅
 高 18 鈴 木 志 郎
 高 20 長 峰 一 男
 高 22 荻 沼 秀 一
 高 24 海 老 原 一 郎
 高 26 富 田 格
 高 28 小 城 豊
 高 30 野 澤 博
 高 32 下 條 卓 造
 高 33 片 岡 達 郎
 高 35 塚 本 一 也

中 41
 中 43 高 橋 秀
 中 44
 中 46 久 保 木 康 輔
 中 48
 高 1
 高 3
 高 5
 高 6 田 村 敏 明
 高 8 本 川 軍 治
 高 10 鈴 村 博 一
 高 12 瀧 ケ 崎 洋 一
 高 14 南 隆 男
 高 15 野 村 ル ナ
 高 16 石 田 栄 一
 高 17 坂 本 栄
 高 19 中 村 志 郎
 高 21 柴 沼 和 広
 高 23 藤 澤 宏
 高 25 前 島 寛 誠
 高 27 桜 井 浩
 高 29 島 岡 宏 明
 高 31 茂 木 久 和
 高 32 原 光 広
 高 34 加 治 行 雄
 高 36 大 曾 根 靖 夫

高 37 齊 藤 康 彦
 高 39 日比野 有
 高 41 矢 口 和 弘
 高 43 目 次 康 男
 高 45 吉 田 謙
 高 47 中 山 雅 博
 高 49 松 井 泰 道
 高 50 小 池 利 明
 定 47 鈴 木 信 行
 高 52 戸 谷 義 治
 高 54 兵 頭 翔 洋
 高 55 島 田 達 也
 高 56 辻 尚 宏
 定 53 内 田 健 人
 高 57 沖 田 賢 亮
 高 58 八 木 太 一
 高 59 内 山 昌 博
 高 60 長 谷 龍 骨
 高 61 鬼 澤 寛 樹
 高 62 倉 内 裕 史
 高 63 島 田 董
 高 64 一 色 竜 杜
 高 65 原 部 直 輝
 高 66 藤 井 章 太
 高 67 大 藤 由 紘
 高 68 関 俊 希
 高 69 山 口 航 平
 高 70 森 裕 介
 高 71 小 林 萌 愛
 高 72 宮 田 明 音
 高 73 大 島 弘 也
 高 74 鶴 町 開
 高 75 藤 原 桃 子
 高 76 山 中 慧 治
 高 77 松 本 のどか

高 38 村 上 太 郎
 高 40 大 川 政 則
 高 42 木 島 則 幸
 高 44 小 倉 洋 平
 高 46 中井川 大 助
 高 48 小 野 重 満
 高 49 青 山 大 人
 高 51 木 村 友 和
 高 51 飛 澤 美 樹
 高 53 島 田 秀 瑛
 高 55 坪 松 章 人
 定 52 工 藤 圭 太
 高 56 菱 沼 智 之
 定 53 櫻 井 忠 男
 定 54 佐々木 真 樹
 定 55 酒 井 義 正
 定 56 酒 井 彩 芳
 定 57 山 下 一 宏
 定 58 兒 玉 拓 也
 定 59 鈴 木 真 介
 定 60
 定 61 寺 門 広 人
 定 62 高 花 翔 太
 定 63 佐 藤 翼
 定 64 鳴 海 聖
 定 65 佐 藤 香 雪
 定 66 入 田 杏 老
 定 67 山 口 陸 冬
 定 68 遠 藤 美 咲
 定 69 塚 本 光 晟
 定 70 根 崎 伊 吹
 定 71 久 松 綾 香
 定 72 小 林 大 樹
 定 73 佐 藤 寛 太
 定 74 岩 瀬 望 海

進修同窓会規約

第1条 本会は、茨城県立土浦第一高等学校進修同窓会（以下、同窓会という。）と称する。

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、且つ母校の発展に協力することを目的とする。

第3条 本会は、事務局を茨城県立土浦第一高等学校内に置く。

第4条 本会は、下記の会員で組織する。

(1) 正会員 ①茨城県立土浦中学校並びに併設中学校、茨城県立土浦第一高等学校及び茨城県立土浦第一高等学校附属中学校の各々卒業生。

②本校に在籍した者で同期が推薦し総会の承認を得た者。

(2) 名誉会員 母校の現職員及び旧職員。

第5条 本会に次の役員を置く。

2 役員を選出及び任務は、それぞれ次のとおりとする。

(1) 顧問 若干名。母校の現校長及び本会に功労のあった者を総会に諮って推挙する。

(2) 会長 1名。会員の中から総会で選出する。本会を代表し、会務を総理する。会長に事故ある時は、会長が予め指定した副会長がその職務を代理する。

(3) 副会長 若干名、会長が会員の中から任命し、総会で承認を得る。但し、母校の副校長、教頭並びに東京支部長、土浦市内の支部長、水戸支部長及びつくば支部長をこれに充てる。会長を補佐する。

(4) 評議員 支部長及び各回幹事から2名以内で選出された者。本会の重要な事項について会長の諮問に応じてこれを審議する。

(5) 本部幹事 40名以内。会長が会員の中から評議員会に諮り、会長が任命する。会長・副会長を補佐し、同窓会事務の企画・運営に当たる。本部幹事のうち4名を常任幹事とし、常任幹事は、それぞれ同窓会の総務、財務、広報及び事務局の総括を担当する。

(6) 校内幹事 若干名。母校在職の会員の中から会長が任命する。本会の庶務・会計の事務を処理する。

(7) 各回幹事 各回若干名。各回の会員が互選する。同期生間の連絡調整並びに母校及び同窓会との連絡に当たる。

(8) 監事 3名。会長が会員の中から任命し、総会で承認を得る。本会の会計を監査する。

(9) 選考委員 若干名。会長が必要に応じて、現校長、副会長及び本部幹事の中から選出する。会員の中から会長の人選に当たり、総会に諮る。

第6条 役員任期は2年とし、再任を妨げない。補充役員任期は、前任者の残任期間とする。

第7条 本会は、適当の地域・職域に支部を設ける。支部長は、支部で選出し、会員同士の親睦並びに母校及び同窓会との連絡を図る。

2 本会に、定時制部会を置く。

第8条 本会は、年1回総会を開く。その時期は、4月とする。

第9条 本会は、年1回評議員会を開く。但し、会長が必要と認めるときは、評議員会及び正副会長会議を開くことができる。

第10条 本会正会員は、入会金として、第4条(1)①の会員5,000円、但し、附属中学校から引き続き高校へ進学した会員は、免除する。第4条(1)②の会員10,000円以上を納入する。

第11条 本会は、毎年同窓会報を発行し会員に配付するとともに、5年毎に会員名簿を発行する。

第12条 本会の経費は、第10条の入会金、年会費、終身会費及び篤志寄付金を以って充てる。

2 年会費は、卒業年から5年間は1,000円とし、卒業時に5ヶ年分を前納し、6年目以降は、3,000円以上とする。

3 終身会費は、30,000円以上とする。

第13条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第14条 会長は、毎年事業計画及び予算書を作成し、評議員会の議決を経て総会に諮る。

第15条 会長は、毎年決算書を作成し、議決を経て総会の承認を得なければならない。

第16条 本会は、卒業60周年、50周年、40周年、25周年、15周年（但し、定時制課程の3修3卒者においては、次年も招待する）に当たる会員を総会の時に招待し祝賀する。

第17条 本会の名誉を著しく高揚した者、本会のため功績顕著な者に対しては、評議員会の審議を経て総会において表彰する。

第18条 本会の規約の改正は、総会出席者の3分の2以上の同意を得なければならない。

附 則

昭和53. 4. 8改正 平成 4. 4. 12改正 平成 6. 4. 10改正 平成 7. 4. 9改正 平成 9. 4. 13改正

平成11. 4. 11改正 平成22. 4. 11改正 平成24. 4. 8改正 平成25. 4. 14改正 平成27. 4. 11改正

平成31. 4. 14改正 令和 2. 4. 12改正 令和 4. 3. 26改正

進修同窓会旧本館活用委員会規則

(設置)

第1条 進修同窓会に、進修同窓会旧本館活用委員会(以下「委員会」という)を置く。

(目的)

第2条 委員会は、土浦一高(旧制土浦中学校)に関する資料を収集し、学校と連携しながら、旧本館の活用事業を推進することを目的とする。

(組織)

第3条 委員会の定数は、校内委員若干名を含め、20名程度とする。

(委嘱)

第4条 委員は、進修同窓会会員の中から進修同窓会会長が委嘱する。

(任期)

第5条 委員の任期は2年とし、欠員が生じた場合の補欠の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長及び副委員長)

第6条 委員会に委員長1名、副委員長2名を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。ただし、副委員長のうち1名は教頭をもってあてる。

3 委員長は委員会を代表し、会務を主宰する。

4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、または委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(事業)

第7条 委員会は、旧本館の活用を図るため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 土浦一高(旧制土浦中学校)に関する資料の収集。
- (2) 旧本館資料展示室における展示の改善。
- (3) 旧本館における各種資料の良好な保存環境の維持。
- (4) 所蔵する資料及び新たに収集する資料の整理、保存。
- (5) 旧本館の一般公開に係る事業。
- (6) その他、旧本館の活用に意義のある事業。

(庶務)

第8条 庶務は、進修同窓会本部事務局において処理する。

この規約は、平成14年4月14日から施行する。

旧本館活用委員会委員一覧

※新規

役職	卒回等	氏名
委員長	高21	助川博夫
副委員長	副校長(高36)	日向久
副委員長	高20	原田晋市
委員長	副参事兼事務室長	諸岡重彰
委員	高5	飯村弘
委員	定4	桜井光孝
委員	高19	小泉明雄
委員	高19	竹井茂雄
委員	高20	渡邊慎一
委員	高20	林和男
委員	高21	鈴木義人
委員	高21	松井泰寿
委員	高21	鴻巣茂信
委員	高21	鈴木道信
委員	高21	中泉多詔
委員	高23	黒岩英行
委員	高25	大和田浩一
委員※	高27	斉藤昇
委員※	高27	桜井浩
委員※	高29	永井博
委員	高33	久保田高広
委員	高40	大塚健司

令和7年度

卒業60・50・40・25・15周年記念

祝賀式次第

令和7年 4月26日（土）総会終了後

司会：本部

- 1 開式のことば ()
- 2 主催者あいさつ (小野 治 会長)
- 3 祝辞 (高28回：一ノ瀬 正樹 様)
- 4 記念品贈呈 会長から各回代表者へ
- 5 謝辞 (高27回：須田 義之 様)
- 6 閉式のことば ()

卒業60周年 [高校17回 (昭40年卒) 定15回 (昭41年卒)]
卒業50周年 [高校27回 (昭50年卒) 定25回 (昭51年卒)]
卒業40周年 [高校37回 (昭60年卒) 定35回 (昭61年卒)]
卒業25周年 [高校52回 (平成12年卒) 定50回 (平成13年卒)]
卒業15周年 [高校62回 (平成22年卒) 定60回 (平成23年卒)]

祝辞

高 28 回卒 一ノ瀬正樹

本日のこの佳き日に、卒業 60 周年、50 周年、40 周年、25 周年、15 周年を迎えられた皆様、まことにおめでとうございませう。皆様方におかれましては、いま、この土浦一高の学び舎に入学したときのこと、そして在校時のさまざまな思い出、そして今日に至る来し方を、走馬灯のように思い返していらっしゃるのではないかと思います。あのピカピカの学生服を着て、ドキドキしながら入学したとき。本当に懐かしく、愛おしい記憶です。そして、言うまでもなく、記憶は過去に関わっています。私は大学にて哲学や倫理学の教育と研究に従事している身です。そして、哲学のなかで「過去」は大きな話題の一つです。たとえば、過去はいまはどこにもない、という自明な事実に基づいて、過去の存在に疑いを向ける立場もあります。しかし、私がここで触れたいのは、時間は過去しかない、という立場です。つまり、「未来」は定義上まだ存在しないし、そして「現在」は厳密に考えるならば瞬間にすぎず、それはつねに瞬時に過去に変成していく定めにあるので、私たちが存在している時間というのは実は過去にほかならない、とする考え方です。奇妙ですが、現在を現在として捉えきえることはたしかに不可能なので、一定の説得力を感じざるをえません。さらに言えば、過去についての認識は最終的には「歴史」と呼ばれるのですが、歴史とは何かというの、答えるのが難しい問いです。過去の事実の客観的記述を行うこと、そう答えるのでしょうか。しかし、虚心坦懐に考えて、過去の事実の客観的記述を全面的に遂行することは到底不可能でしょう。そこで、哲学で有力な考え方として「歴史の物語論」というものが論じられています。歴史とは、過去の事象として伝承されたり記憶されたりしていることにいわばプロットを与えて物語として提示する営みなのだ、ということです。ということは、もし私たちは過去に生きている、そして過去は究極的には物語なのだ、とするならば、土浦一高の卒業生の皆様がいまこの機会に、土浦一高時代を追憶し、来し方を振り返っているということは、単に過去を懐かしみ愛おしさを感じているということではなく、それぞれの皆様方の人生あるいは実存をいまこのとき物語として創造し、それをいまから到来する過去（一般的に言う「未来」）に投げかけていることなのだ、そのように捉えることができるように私には思われるのです。言い方を換えるならば、土浦一高時代の記憶はいま私たちの血であり肉である、とでも表現できませんでしょうか。いまや土浦一高は茨城県を代表する名門であり、またインドからヨギ校長先生をお招きするなど、先進的な物語を紡ぐ高校でもあります。卒業後の区切りとなる年を迎えられた皆様方におかれましては、土浦一高時代の初々しい思い出をいま自身の内にて進行中の事象として捉え返して、これから生成してくる過去（つまり未来）を清新かつ豊穡なものとしてくださり、土浦一高の物語にさらなる花を添えてくださいますことを、切に願いたいと思います。以上私からのご挨拶といたします。

謝 辞

高 27 回卒 須田 義之

目にも鮮やかな新緑の季節を迎えんとする、本日このよき日に、卒業周年祝賀式にお招きいただき誠にありがとうございます。卒業 15 周年、25 周年、40 周年、50 周年、60 周年の皆様を代表して、関係者の方々に、心より御礼申し上げます。

私ども 27 回は、昭和 47 年 4 月入学、同 50 年 3 月卒業になります。普通科 7 クラス、理数科 1 クラス、合計 8 クラス、約 360 名の学年でした。

御指導いただいた先生方は、学年主任の宮崎昭先生、副主任の栗山作次郎先生、クラス担任の上木幹夫先生、佐藤忠臣先生、飯村弘先生、長壁英進先生、伊能健先生、植木元生先生、片岡博先生、戸祭秀雄先生の 10 名です。私どもの自慢というか、幸運はこの 10 名の先生方は 3 年間まったく異動がありませんでした。チーム「宮崎(ボス)」10 人衆はちょうど脂の乗り切ったベテランぞろい、授業、生活指導、進路指導、学年経営等、どれをとっても最高のメンバーでした。学年全体のキャンプ、土水戦、一高祭、生徒会活動などやりたい放題のやんちゃな学年でしたが、先生方からブレーキがかかったことは一度もありませんでした。そればかりか、目立たないところでそっと後押ししてくれていました。十代の私達にとっては、頼りがいのある、そして懐の深い先生方でした。おひとりおひとりの姿や表情、授業風景が鮮明に目に浮かびます。50 年という大きな区切りを迎えるに当たり、私たちを育ててくれた恩師とこの母校に対し、感謝の気持ちでいっぱいです。

古より「光陰矢の如し」と言われますが、気が付けば、私たちの人生も第 4 コーナーにさしかかってきました。これからの自分の役割は何なのか、自問自答が続きます。特に、本日は、母校に対し何ができるのか、何か恩返しをしたいという、ささやかな思いを新たにしました。

亡くなりましたが、詩人の杉山平一さんの一遍を添えさせていただきます。

『徽章』 杉山平一

むかし帽子の上に光る徽章のやうな人間になりたいと思つてゐた

いま自分は靴のうらに光る鉄鋏のごとき存在にすぎない

人しれず 支えつゝ

磨りへらんかな

価値観の多様性、目まぐるしい技術革新、生活環境の激変など、大変難しい時代に突入しました。本校におかれましても、中学校併設に伴う学級構成の変更、学力偏重に対する新しい価値観・生き方、故郷・母校に対する思いが希薄になってしまった社会等、本質的問題が山積しています。

土浦一高の先輩、後輩の皆様、関係者の皆様の知恵とお力を結集して、これらの課題を克服し、輝かしい母校の未来が築かれんことを願つてやみません。

結びに、祝賀式をご準備くださいました、進修同窓会の役員、事務局の方々に改めてお礼申し上げます。本日は誠にありがとうございました。